

EMAの新たな取組みに関して ～ モニタリング（評価・情報提供） ～

2016年12月

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

新たな取り組み

- スマートフォンの普及にともなって、新たなコミュニケーションが青少年に深く浸透するとともに、動画配信サービスなどに見られるオンラインサービスの進歩により、青少年のインターネット利用環境は急激な変化を続けている。
- サービスと利用者ニーズの多様化から、EMA認定制度のカバー範囲が限定的になってきていることから、急激な変化に適応可能な新たな取り組みが必要な局面となっている。
- ネットを介した青少年の犯罪被害児童が増加するなど、ネット上の青少年のリスクが増大していることから、EMAの第三者機関としての役割を再認識し、既存のEMA認定制度に加えて、モニタリング（評価・情報提供）をはじめとした新たな取り組みを通して、ICT分野における青少年保護と健全な育成を図るとともに、コンテンツ産業の健全な発展が実現される環境を目指す。

モニタリング（評価・情報提供）

- 青少年に影響が大きいと思われるサービスを対象に、警察庁をはじめ関係機関からの情報を参考に、中立な第三者機関としての独自の調査によって評価を実施し、利用状況や機能特性などのサービスの実態について、情報提供する仕組み（スキーム）を構築する。
- サービスの機能やテーマだけでなく、利用者が発信する情報までを一定期間ごとにモニタリングを行い、評価を実施する。
- 青少年や保護者をはじめとした利用者への注意喚起をおこなうとともに、フィルタリング等の青少年保護施策の継続的な改善や、啓発教育活動に活用可能な最新の情報を関係機関に提供する。

評価のポイント

①有害情報の状況

情報の発信元が運営事業者であるか、ユーザーであるかにかかわらず、サービス内の有害情報の掲載状況を確認する。

②有害情報、および出会いに関連する情報へのアクセシビリティ

容易に有害情報にアクセスできる仕様となっていないか、また、出会いにつながる情報（連絡先など）を容易に収集できる仕様となっていないかなど、青少年の利用上のリスクにつながる情報へのアクセシビリティを確認する。

③青少年利用を前提とした利用環境の整備状況

青少年の利用を前提とした利用環境の整備がなされているかについて、EMA認定基準を元にした項目を中心に確認する。

モニタリング（全体イメージ）

評価

Webサイト



スマホアプリ



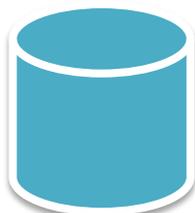
App Store



Google play

アプリマーケットのランキングなどのタイムリーな情報を元に、ソーシャルネットワークサービスを中心に、青少年への影響が大きいWebサイト、アプリの評価を実施。評価情報をデータベースに蓄積。

評価



評価情報データベース

分析

情報提供



トレンドに関する情報

出会い系サイトやID交換掲示板の提供状況など、青少年利用に適さないアプリや、青少年への影響が大きいアプリに関するタイムリーなトレンド情報。



サービスに関する情報

- ①サービス毎の情報
個別のサービスに関する青少年利用に関する適性や利用に際しての注意などの情報。
- ②サービスタイプ毎の情報
「チャット」、「掲示板」などのサービスのタイプ毎に、青少年利用に関する適性や利用に際しての注意などをまとめた情報。



青少年・保護者



教育機関等



アプリマーケット、携帯電話通信事業者、フィルタリング会社などへの情報

個別のサービスに関して、そのサービスの特性や状況が、レーティングやフィルタリングの適用状況と整合しないと思われる場合に提供する情報。



OSベンダー、
携帯電話通信事業者
フィルタリング会社

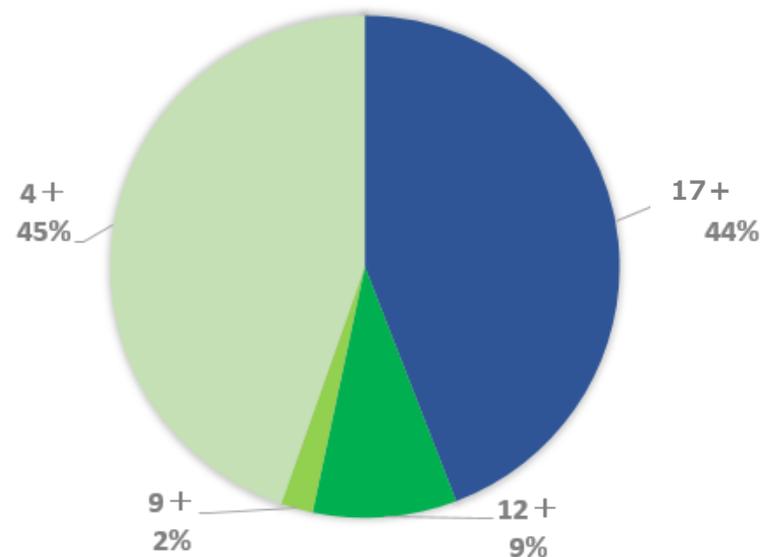
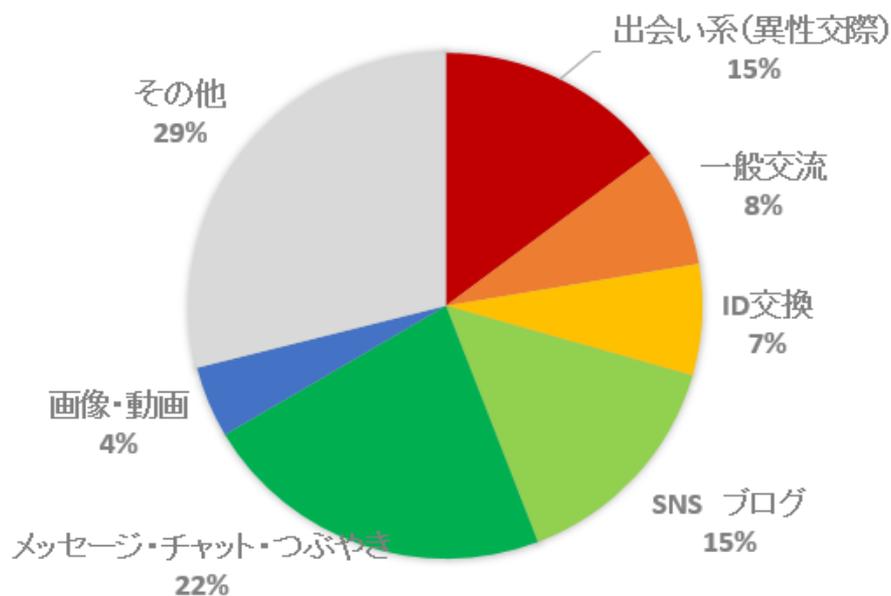
例 1) トレンドに関する情報

- 継続的にモニタリングを実施することにより、青少年保護に関連するネットサービスのトレンド情報を提供可能。

(例) Apple AppStore ソーシャルネットワーク (無料) の状況

【サービス詳細分類】

【レーティング】



(2014年11月 EMA実施調査より)

例 2) サービスタイプ毎の情報

- モニタリングにおいて検知した青少年の利用上の最新のリスクについて、青少年、保護者をはじめ広く注意喚起のための情報を提供可能。

「青少年被害が急増しているID交換掲示板に関して対応すべき青少年保護施策について」
(2014年5月31日公表 http://www.ema.or.jp/press/2014/0530_03.pdf)

<別紙>

青少年被害が急増している ID 交換掲示板に関して

対応すべき青少年保護施策について

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

近年、コミュニティサイトに起因する犯罪被害の児童数が、警察庁の調査開始以来、最多となっており、その原因の一つとして「ID 交換掲示板」が挙げられています。

この度、EMA では、「ID 交換掲示板」の特性と利用実態について調査を実施するとともに、青少年の利用環境改善のため OS 事業者との取り組みを開始しました。

このような状況で青少年が「ID 交換掲示板」を利用して犯罪被害に巻き込まれないためには、スマートフォン等においてもフィルタリング等の利用制限機能を利用することが有効であるため、青少年と保護者・学校・事業者等の関係者が実行すべきポイントをまとめましたので、公表いたします。

1. はじめに

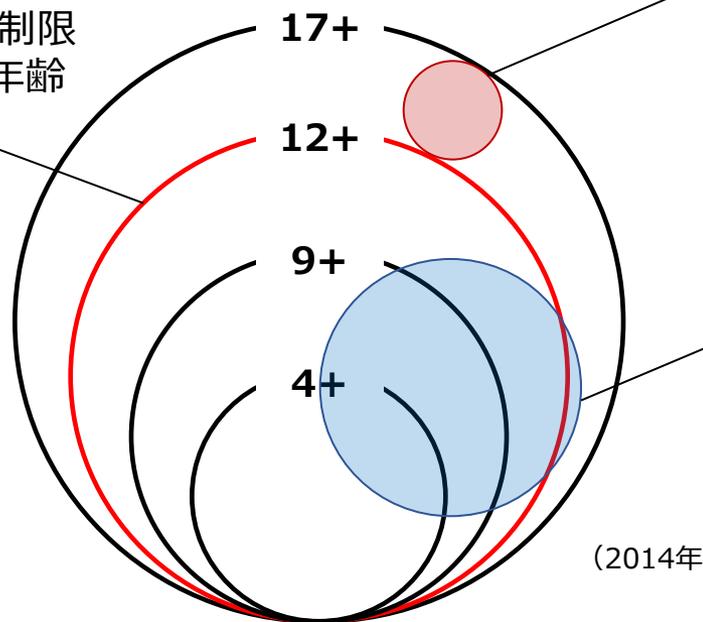
コミュニティサイトに起因して犯罪被害に遭った児童の数は、平成 23 年から減少傾向であったが、平成 24 年の後半から増加傾向となり、平成 25 年は、警察庁の調査開始以来、最多となってしまった。

例3) OS事業者等への情報提供

EMAからApple社への情報提供の例

- App Storeで提供されているサービスのうち出会い系サービス、出会い系のID交換掲示板等のレーティングは、概ね「17+」に設定されている。
- EMAのモニタリングにおいて、出会い系サービス等で「17+」が設定されていない場合、Apple社への情報提供をおこなっている。

■ 店頭で設定される機能制限
APPのレート：12+等、年齢
に応じた設定



■ 出会い系サービス等（実態上出会い系として運営されているサイト含む）のレーティングの範囲

■ 一般的なSNSアプリのレーティングの範囲

(2014年12月 EMA実施調査より)

EMAモニタリング 新モードへの対応

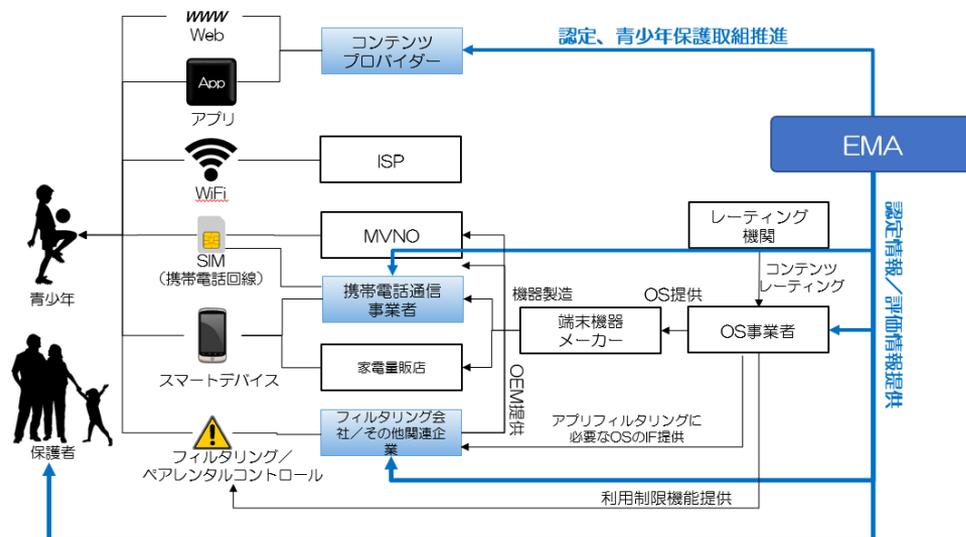
- フィルタリング・新モードへの対応として、児童被害抑止の実行性を向上させるために、以下の情報提供をおこなう。

OS	App/Web	対応内容
iOS	App (iOS機能制限)	EMAの調査において、いわゆる出会い系サービス等（実態上出会い系として運営されているサイト含む）で適正なレーティングが設定されていない場合、モニタリング情報の提供を行っている。 ■情報提供先：Apple社 ※現在、実施中。（P4「例4」OS事業者等への情報提供」参照。）
	Web (iOS機能制限-アダルト制限 ※新モード)	iOS向けWebフィルタリングとして位置づけられる「Webサイト-アダルトコンテンツを制限」においても、青少年利用における重大なリスクへ対応できるよう、Apple社-EMAのスキームを構築し、継続的な補正・改善を支援する。 ■情報提供先：Apple社 (Apple社-EMAのスキームを調整中)
Android	App (※新モード)	Android向けのフィルタリング・新モード (App、Web) において、青少年利用における重大なリスクへ対応できるよう、モニタリング情報の提供を行い、継続的な補正・改善を支援する。 ■情報提供先：携帯電話事業者
	Web (※新モード)	

新たな業務

スマートフォン時代のEMAの役割

- フィーチャーフォンからスマートフォンへの変化において、青少年のインターネット利用を取り巻くステークホルダーが増え、利用環境整備におけるコントロールポイントも複数の領域が存在している。
- 技術・サービスの進歩・発展に対応し、継続的に問題解決を進めるためには、各ステークホルダーが連携していく必要がある。
- 当タスクフォースの議論を受け、携帯電話事業者、安心協、EMAの協議を実施し、EMAは、これまでのEMA認定に加え、新たにモニタリングという役割を担うことになった
- 新たな連携体制にて、青少年保護における問題解決とそれぞれ役割分担について協議が進められたことは、青少年保護におけるさらなる前進と言える。



連携体制の強化

- 第三者機関が、継続的に社会的役割を果たしていくためには、コスト面での安定が不可欠である。
- 携帯電話事業者、安心協、EMAにおける三者の協議においては、新たな役割にかかる費用を中心にコスト面においても協議中であり、役割分担を明確化すると同時に連携体制についても強化する方向にある。
- さらに、その他のステークホルダーも含めて連携し、問題認識を共有化することで問題解決を図り、継続的な、より実効性の高い青少年保護のための体制を確立する必要がある。

